

広島県内中小企業 景況調査 **結果**

建設業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年 7月～9月期 **実績**
平成16年 10月～12月期 **見通し**

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成16年9月5日
(2) 調査対象期間 平成16年7月～9月期 **実績**
平成16年10月～12月期 **見通し**
しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金1億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金1千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

3. 調査方法

原則として、商工会（県内14）、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

4. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

II. 建設業の景気動向

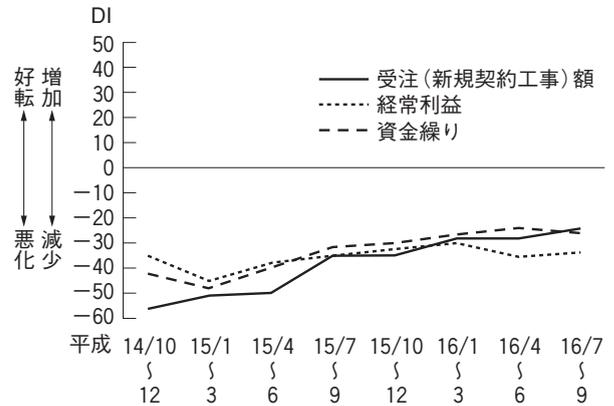
1. 概況（前年同期比）

業況は好転傾向。

平成16年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注（新規契約工事）額、経常利益、資金繰りとも好転した企業が増加、好転傾向にある。

【DI値】受注（新規契約工事）額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として、水面下では停滞している。

主要項目の動向（前年同期比）



2. 7月～9月期の動向

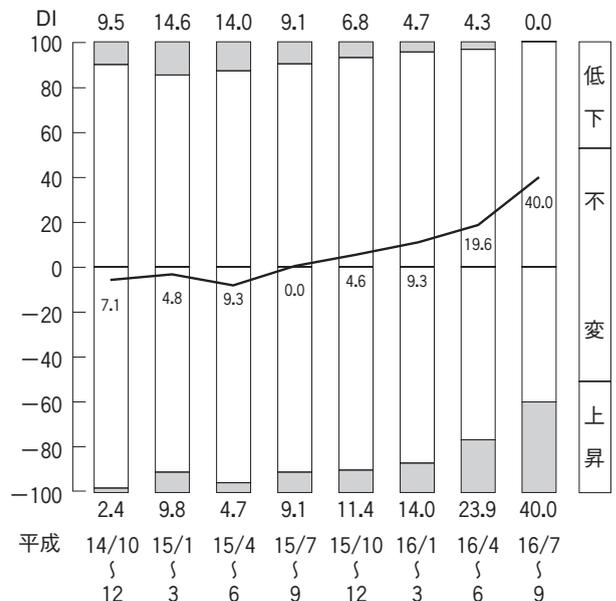
(1) 受注（新規契約工事）額はやや増加（前年同期比）

前年同期と比べた今期の受注（新規契約工事）額の増減状況については、増加した企業が17.8%、減少した企業が42.2%となり、DI値はマイナス24.4となり、前年同期比に比べ増加している。

(2) 材料仕入単価は大幅に増加（前年同期比）

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業40.0%、低下した企業0.0%、不変60.0%となっている。

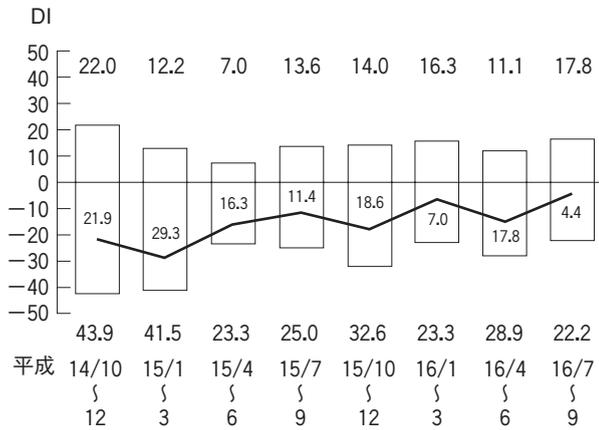
材料仕入単価の動向 折線は「上昇」－「低下」



(3) 経常利益は増加(今期)

今期の経常利益の状況は、増加17.8%、減少22.2%で、DI値はマイナス4.4となり、前期のDI値マイナス17.8と比較して増加している。

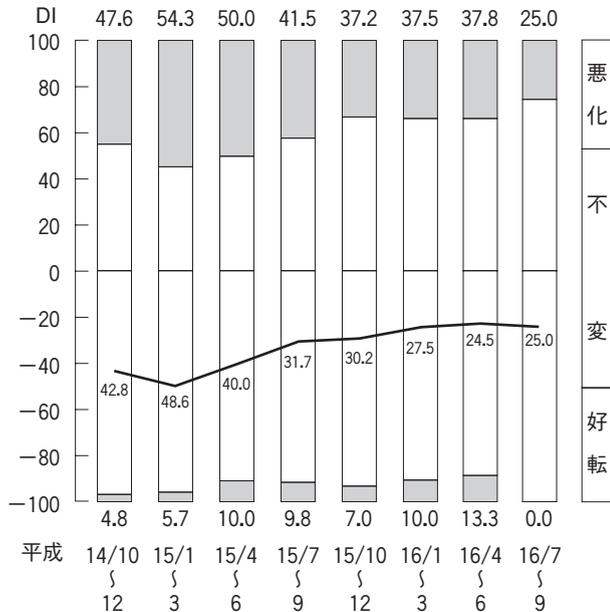
経常利益の水準 折線は「黒字」-「赤字」



(4) 資金繰りは好転傾向(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業0.0%、悪化した企業25.0%、DI値はマイナス25.0%とマイナスとなっているが、前年同期と比べ好転傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」-「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況は減少傾向。

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注(新規契約工事)額は微増しているが、経常利益、資金繰りともに減少しており、業況として減少傾向にある。

建設業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI
		-13.7
経常利益		DI
		-30.2
資金繰り		DI
		-24.4
業況		DI
		-30.8

建設 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成15年 7～9月期	官公需要の停滞 (31.6%)	民間需要の停滞 (23.3%)	請負単価の低下・上昇難 (21.1%)
平成15年 10～12月期	官公需要の停滞 民間需要の停滞 (30.0%)	請負単価の低下・上昇難 (22.5%)	材料費・人件費以外の経費の増加 (5.0%)
平成16年 1～3月期	官公需要の停滞 (41.5%)	民間需要の停滞 (17.1%)	請負単価の低下・上昇難 (14.6%)
平成16年 4～6月期	官公需要の停滞 (43.2%)	請負単価の低下・上昇難 (18.2%)	民間需要の停滞 (15.9%)
平成16年 7～9月期	官公需要の停滞 (48.8%)	請負単価の低下・上昇難 (20.9%)	材料単価の上昇 (7.0%)

広島県内中小企業景況調査結果

製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年 7月～9月期 **実績**
 平成16年 10月～12月期 **見通し**

Ⅲ. 製造業の景気動向

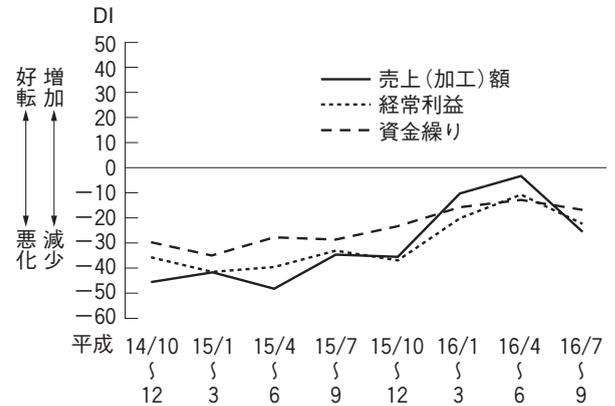
1. 概況(前年同期比)

業況は上昇傾向。

平成16年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(加工)額、資金繰り、経常利益ともに上昇しており、全体として業況は上昇傾向にある。

【DI値】売上(加工)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

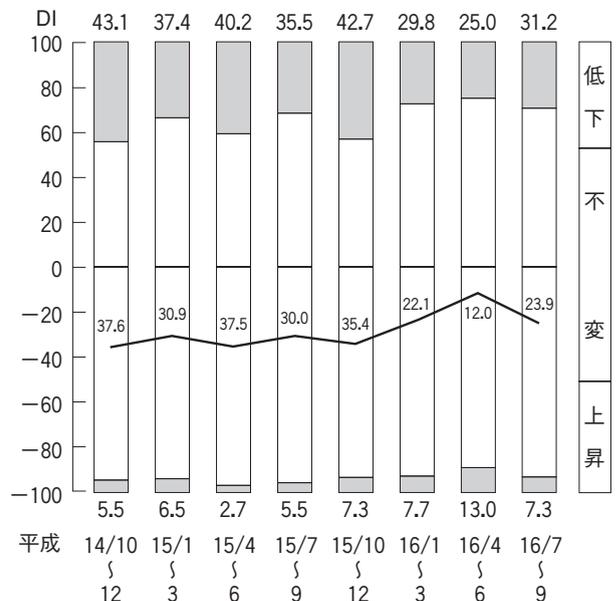
(1) 売上(加工)額は好転(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)額の増減状況については、増加した企業が23.1%、減少した企業が49.1%となり、DI値はマイナス26.0%となり、好転傾向にある。

(2) 売上(加工)単価は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)単価については、上昇した企業7.3%、低下した企業31.2%、不変61.5%となっている。DI値は6.1ポイント増加している。

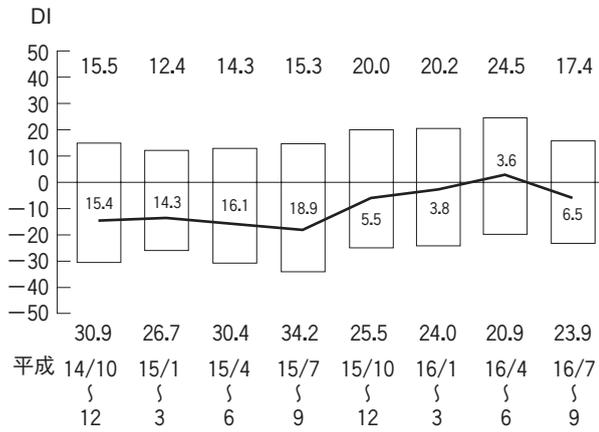
売上(加工)単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は減少傾向(今期)

今期の経常利益の状況は、増加17.4%、減少23.9%で、DI値はマイナス6.5となり、前期のDI値プラス3.6と比較して10.1ポイント減少している。

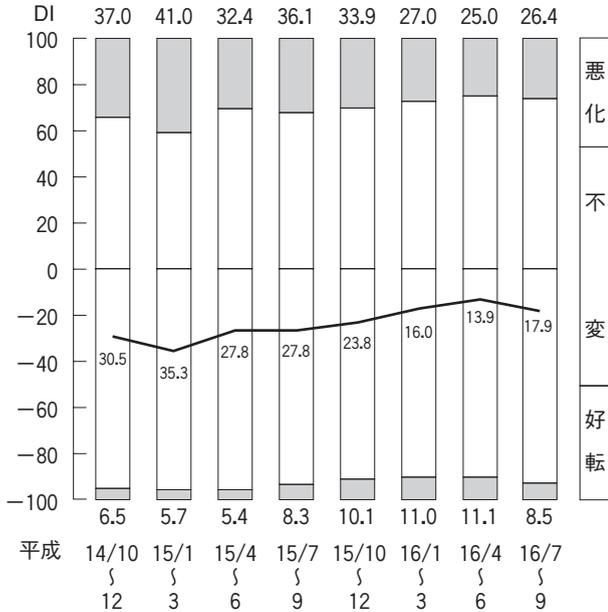
経常利益の水準 折線は「黒字」-「赤字」



(4) 資金繰りは上昇(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業8.5%、悪化した企業26.4%となっており、DI値はマイナス17.9と上昇傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」-「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況は悪化傾向。

今期と比べた来期の見通しについてみると、経常利益が微増傾向ではあるが、売上(加工)額、資金繰りともに微減傾向にあり、来期の業況はやや悪化との判断を示している。

製造業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI -9.4
経常利益		DI -11.2
資金繰り		DI -13.1
業況		DI -18.8

製造 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (35.9%)	加工単価の低下・上昇難 (25.2%)	製品ニーズの変化への対応 (13.6%)
平成15年 10～12月期	需要の停滞 (34.6%)	加工単価の低下・上昇難 (23.1%)	取引条件の悪化 (5.8%)
平成16年 1～3月期	需要の停滞 (29.6%)	加工単価の低下・上昇難 (25.5%)	製品ニーズの変化への対応 (12.2%)
平成16年 4～6月期	加工単価の低下・上昇難 (24.5%)	需要の停滞 (23.5%)	原材料価格の上昇 (15.7%)
平成16年 7～9月期	需要の停滞 (25.0%)	加工単価の低下・上昇難 (20.2%)	原材料価格の上昇 (18.3%)

広島県内中小企業景況調査結果

小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年 7月～9月期 **実績**
 平成16年 10月～12月期 **見通し**

Ⅳ. 小売業の景気動向

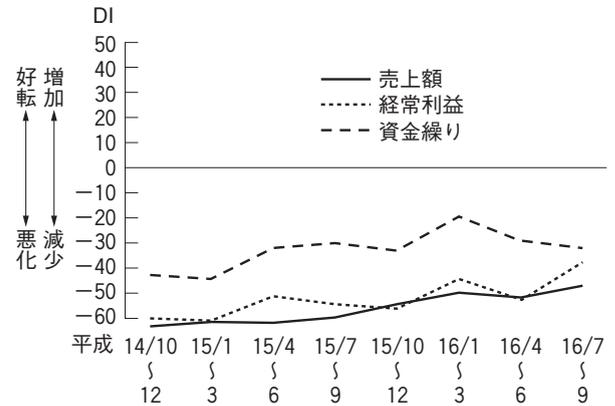
1. 概況(前年同期比)

業況は好転傾向。

平成16年9月～7期の業況を概観すると、前年同期と比べ、資金繰り、売り上げは好転傾向にあり、経常利益が微減している。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では依然停滞気味であるといえる。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

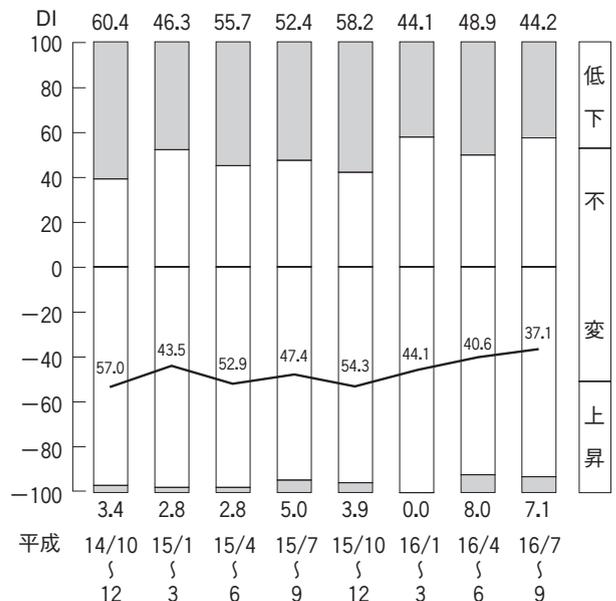
(1) 売上額は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が11.6%、減少した企業が58.9%、DI値はマイナス47.3となっている。

(2) 客単価は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業7.1%、低下した企業44.2%、不変48.7%となっており微増している。

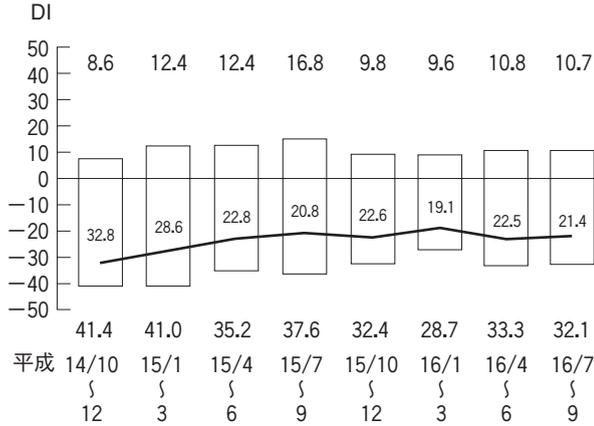
客単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は微増(今期)

今期の経常利益の状況は、増加10.7%、減少32.1%で、DI値はマイナス21.4となり、前期のDI値マイナス22.5と比較して1.1ポイント増加しておりやや好転傾向にある。

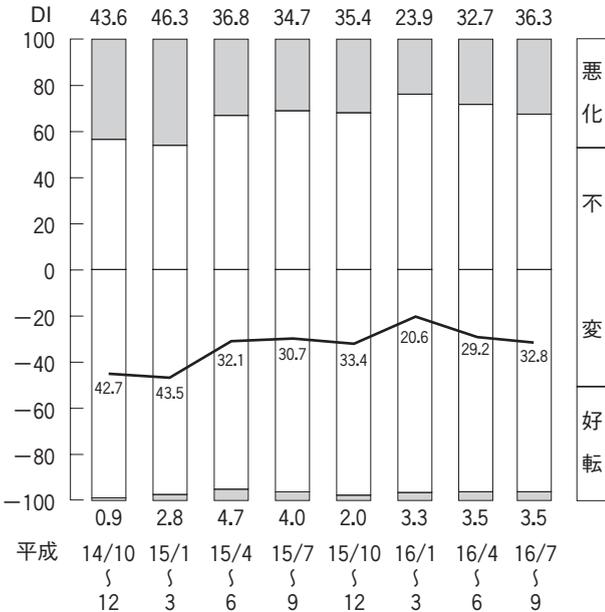
経常利益の水準 折線は「黒字」-「赤字」



(4) 資金繰りはやや改善(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業3.5%、悪化した企業36.3%、DI値はマイナス32.8とやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」-「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況は好転傾向。

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りともに、増加を示しており、業況は好転傾向にある。

小売業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI
		-39
経常利益		DI
		-40.2
資金繰り		DI
		-26.7
業況		DI
		-21.9

小売 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (32.0%)	大・中型店の進出による競争の激化 (17.5%)	販売単価の低下・上昇難 (12.4%)
平成15年 10～12月期	需要の停滞 (26.8%)	大・中型店の進出による競争の激化 (23.7%)	購買力の他地域への流出 (16.5%)
平成16年 1～3月期	需要の停滞 (23.9%)	大・中型店の進出による競争の激化 (21.7%)	購買力の他地域への流出 (20.7%)
平成16年 4～6月期	大・中型店の進出による競争の激化 (25.2%)	購買力の他地域への流出 (18.3%)	需要の停滞 (16.8%)
平成16年 7～9月期	大・中型店の進出による競争の激化 (27.5%)	需要の停滞 (19.3%)	購買力の他地域への流出 (16.5%)

広島県内中小企業景況調査結果

サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年 7月～9月期 **実績**
 平成16年 10月～12月期 **見通し**

V. サービス業の景気動向

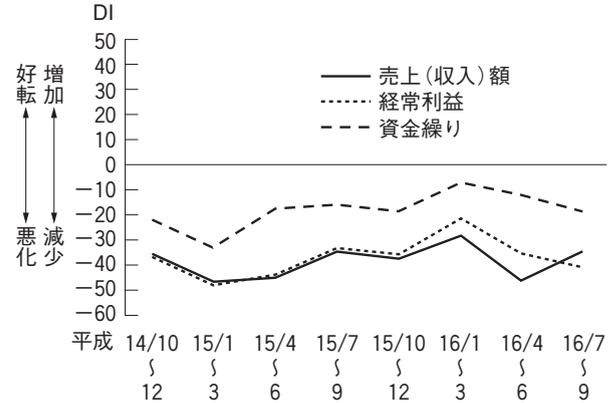
1. 概況(前年同期比)

業況は減少。

平成16年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べ売上げ、資金繰りともに減少傾向にあり、経常利益は微増している。全体としては減少傾向にある。

【DI値】売上(収入)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

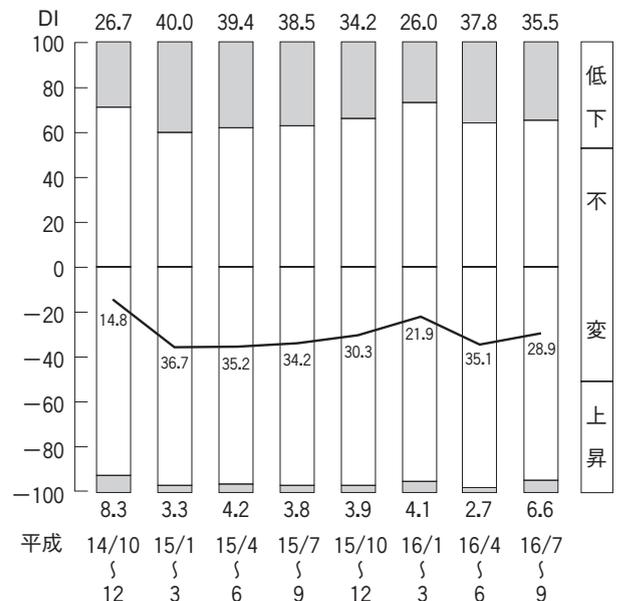
(1) 売上(収入)額は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(収入)額の増減状況については、増加した企業が18.4%、減少した企業が52.7%、DI値はマイナス34.3となっており、微増傾向にある。

(2) 客単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業6.6%、低下した企業35.5%、不変57.9%となっており、増加傾向にある。

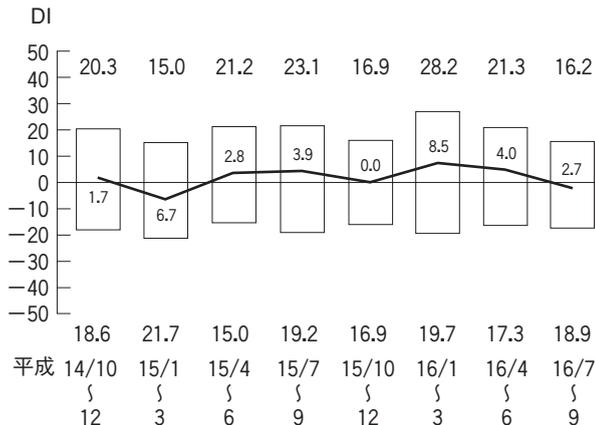
客単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は減少(今期)

今期の経常利益の状況は、増加16.2%、減少18.9%で、DI値はマイナス2.7となり、前期のDI値4.0と比較して6.7ポイント減少し、前期に比べ、今期は減少傾向にある。

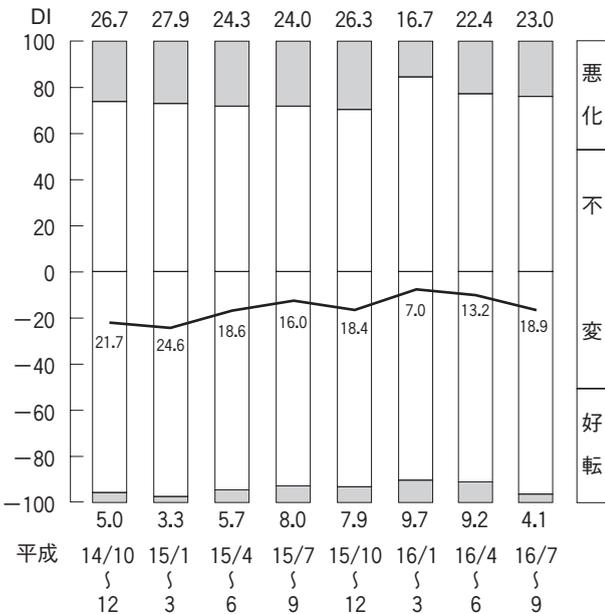
経常利益の水準 折線は「黒字」-「赤字」



(4) 資金繰りは減少(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業4.1%、悪化した企業23.0%、DI値はマイナス18.9とマイナスを示しており、減少傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」-「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況は悪化傾向。

今期と比べた来期の見通しについてみると、資金繰りは好転傾向であるが、売上額、経常利益、ともに悪化を予想する企業が多く、来期の業況は悪化傾向を示している。

サービス業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI -36.4
経常利益		DI -23.2
資金繰り		DI -13.7
業況		DI -32.8

サービス 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (41.1%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.3%)	利用料金の低下・上昇難 (9.6%)
平成15年 10～12月期	需要の停滞 (38.6%)	利用者ニーズの変化への対応 (17.1%)	新規参入業者の増加 (11.4%)
平成16年 1～3月期	需要の停滞 (36.5%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.8%)	新規参入業者の増加 (11.1%)
平成16年 4～6月期	需要の停滞 (40.8%)	利用者ニーズの変化への対応 (18.3%)	新規参入業者の増加 (11.3%)
平成16年 7～9月期	需要の停滞 (34.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (24.3%)	新規参入業者の増加 (10.0%)